

公益社団法人米沢有為会
興讓館寄宿舍OB会
通信 第3号(2018.1)

発行

公益社団法人米沢有為会興讓館寄宿舍OB会
〒182-0004 東京都調布市入間町 1-36
東京興讓館内
連絡先 nkanno@wonder.ocn.ne.jp

平成29年度総会報告

平成 29 年度の興讓館寄宿舍 OB 会総会が、11 月 18 日 (土) 午後 3 時から、東京・四谷駅前『主婦会館プラザエフ』にて出席者 18 名で開催されました。

第一部の総会は佐藤憲一幹事(東 44)の司会で始まり、最初に大滝則忠会長(東 39)が挨拶し、多忙の中の出席御礼と、寄宿舍 OB 会の目的である「会員

相互の親睦を図り、米沢有為会及び興讓館寄宿舍との関係を密にすると共に、米沢有為会及び興讓館寄宿舍の発展に寄与する」ための活動への引き続きの協力要請がありました。また、夏の米沢有為会の総会及び理事会の議により、歴史と伝統ある米沢有為会の第 15 代会長に就任したことの報告があり、米沢有為会は 2 年後には創立 130 周年、寄宿舍開設 110 周年の節目に当たり、米沢有為会との連携を一層深めながら活動したいことの決意が述べられました。

その後、大滝議長(会長)のもと議事に入って、①平成 28 年度活動報告及び会計報告、同監査報告、平成 29 年度予算案の提案が行われ、それぞれ原案どおり全会一致で承認されました。各報告等の要旨は、次のとおり。

◎平成 28 年度活動報告：役員会 3 回／『興讓館寄宿舍 OB 会通信』の発刊及び会員(603 名)発送／東京・仙台寄宿舍に舎生歓送迎祝金各 3 万円贈呈

◎平成 28 年度会計報告(平成 28 年 4 月～29 年 3 月)：収入合計 862 千円 (年会費等 375 千円、前期繰越 487 千円)／支出合計 862 千円 (総会印刷通信費、寄宿舍祝金等 405 千円、次期繰越 457 千円)

◎監査報告：適正な収支を確認

◎平成 29 年予算：OB 会会員の入会促進及び総会参加増を目指し 900 千円規模を見込む。

懇親会

引き続き第二部の懇親会に入り、西村純先輩(仙 20)



総会参加者 <前列左から> 菅野憲幸(東 42) 上野和子(札 40) 樋口正宏(東 37) 西村純(仙 20) 大滝則忠(東 39) 小森力雄(東 20) 佐藤毅(東 36) 赤井淳一(東 35) 高瀬勝(東 37) <後列左から> 佐藤陸三(東 38) 平山和博(東 38) 加藤国雄(東 39) 斎藤彰(仙 37) 武田篤(東 43) 上村正和(東 37) 川合勝雄(東 41) 藤谷佑三(東 42) 佐藤憲一(東 44)

有為会北海道支部総会報告

上野 和子 (札40)

11月23日、例年通りジャスマックプラザホテルで開かれ、13人が参加しました。今年度3人の新入会員を迎え、内2人が参加で嬉しい会となりました。

米沢有為会北海道支部の活動は9月の芋煮会(サトランド)と11月の総会の2回で交友を温めて来ましたが、9月の芋煮会が今年から中止となり(お世話になっている鶴城工親会=米沢工業高校出身者と家族の方・・・高齢となり100人規模の会が出来なくなったため)、今年初めての顔合わせでした。年一度の総会だけでは寂しいから、何とかして芋煮会を復活させよう!と盛り上がりました!来年の報告に期待してください。

上野から、東京での興讓館寄宿舎OB会の総会参加報告と来年の参加をお願いしました。



南アフリカ共和国留学報告

法政大学社会学部3年 梅沢 剛英

私が考えるグローバル人材とは、単に国際的な言語が話せる人のことではありません。世界に広くアンテナを張り、問題意識を持って行動できる人間のことです。大学での授業がきっかけとなり、私は繊維産業に課題を見出し、理想を実現することで主にBOP(経済ピラミッドの底辺層)の生活を豊かにすることができると考えました。

昨年末に大学での部活動を引退し、就職活動を始め、その中である企業の方とお話させていただく機会があり、現在は東南アジアに拠点を置いている日本企業はやがて、アフリカ大陸へと生産の拠点を移動すると聞き、自分がこの業界で活躍するためには現地の状況を知っておく必要があると考えました。私の場合、英語も全くできなかつたので、現地の語学

興讓館寮(東京・仙台)

平成30年度 寮生を募集中

お知り合いの方をお誘いください。

男子、個室、朝夕2食付

東京興讓館寮 寮費(月額) 48,000円*

募集人員 7名 *在寮生数により異なる場合あり

仙台興讓館寮 寮費(月額) 42,000円**

募集人員 1名 **冬期44,000円
在寮生数により異なる場合あり

詳細は 米沢有為会ホームページで

奨学生(月額4万円貸与)も募集中です

学校に通いながら自分の興味に従って、現地の企業や市場の状況を見るという目的で南アフリカ共和国での留学を決めました。

留学にあたって、資金面のサポートから治安や衛生に関するアドバイスまで、同郷の先輩方を始め、多くの人から賜り、十分な準備ができたと感じています。現地に到着してからは、治安や食事のギャップに驚きましたが、現在はすっかり環境に順応し、心地よいとさえ感じています。これまでの生活で、自分が日本で想定していたよりも多くの課題が見つかり、それと同時にアフリカ大陸でのBOPビジネスや、資源の可能性を感じさせられます。私が生活しているのは、アフリカ大陸の中では最もといってよいほど都市的地域ですが、そんな地域でさえ、水道の配管やネットワークなどのインフラ面の課題を抱えています。

さて課題は見つかっているのですが、実際に現地でも活動してみるの自分自身が想定していたよりもずっと難しいです。ネットワークの脆弱性や、治安や衛生の問題から自由に活動するということは簡単ではありませんが、今後2ヶ月間は今まで自分が見つけたコネクションを活かして、まだまだいろんなものを見て考えていきたいと考えています。最後に私をサポートしてくださる全ての人々に感謝したいと思います。(東京興讓館在寮。平成30年2月まで留学中)



(南アフリカの日の出)

安部壮一郎 (仙 31) 11月松島で開催の仙台興譲館OB会の方に出席します。 [町田市在住] *

飯沼俊男 (東 31) 丑年生まれの80歳になりましたが、体のダイナミックレンジを維持しようと、週1~2回、テニスをしています。 [所沢市在住] *

我妻光吉 (仙 33) 15年家族介護をしています。①介護に必要な脳神経細胞変性症の医・薬・看の知識と介護スキルの向上に努める日々です。②相対性理論、量子論、宇宙論の入口を趣味的に覗いています。 [さいたま市在住] *

赤井淳一 (東 35) 山手線、玉電、トロリーバス等を利用し、新大久保~三軒茶屋に通学した。鉄道への愛着により、現在は最寄り山北駅のキップ販売、SL・D52 70号機の整備等のボランティアに駆り出されています。 [神奈川県山北町在住] *

甲 國信 (仙 37) 有為会仙台支部の理事会と重なってしまいましたので、欠席致します。盛会を祈ります。 [仙台市在住] *

平山和博 (東 38) 3年ぶりで参加です。大病を患いましたが、なんとか回復中です。 [横浜市在住] *

※平山さんは、寄宿舎OB会の総会当日、愛用のキャノン製カメラでスナップ撮影に大活躍いただきました(編集子追記)

舟山国夫 (東 38) 昭和37年2月入試の時、先輩方に大変お世話様になりました。田舎より都会への空気に触れた最初でした。進藤甲三さん、石原俊一さん、桶川興平さん暖かい心で導いて頂いたことは55年を経た今でも心より感謝致しています。 [横浜市在住] *

安部孝二 (仙 40) 昨今、インターネットを介して様々事が可能になってきました。遠隔地より自宅の

『通信』の発刊 3つの役割

OB会則の目的「会員相互の親睦を図り、興譲館寄宿舎との関係を密にすると共に、米沢有為会及び興譲館寄宿舎の発展に寄与する」の一環として

交流広場 情報交換 相互刺激

年2回程度 不定期刊 頁数(偶数)不定

原稿募集! 事務局にご相談下さい

この『通信』は、米沢有為会ホームページ上でも、ご覧いただけます。

<http://www.yonezawa-yuukai.org/>

トップページ>「育英・文化事業」
>「興譲館寄宿舎OB会」

パソコンの電源投入・切断や画面操作も可能になりましたし、アマチュア無線機さえもインターネットを介して操作できるようになりました。平日、生活している川崎のマンションから横須賀自宅に設置したアンテナと無線操作の操作が出来るようになり、ハムライフを楽しんでいます。又、超小型マイコン Raspberry Pi や SDR (Software Defined Radio) を利用して遊んでいます。 [横須賀市在住] *

伊藤和夫 (仙 40) 高校教員を退職して丸10年。日々の暮らしは家庭菜園を主にして趣味を楽しんでいます。学生時代に有為会の寮と奨学金をダブルでお世話になり、今はその恩返しのため有為会の役員を務めています。創立130周年を終えるまで頑張りその後は後輩にバトンを渡すつもりです。 [米沢市在住] *

中條良文 (東 40) 9月30日米沢有為会支部講演会並びに芋煮会で大滝さんに大変お世話になりました。帰りの電車時間まで塚田昌伸君と3人で飲み、楽しい時間を過ごすことが出来ました。皆様によりしくお伝えください。 [米沢市在住] *

手塚宮雄 (仙 41) 11月19日(日)米沢市青少年育成市民大会の準備のために出席できません。悪しからずご了承下さい。仙台寮OB会(11月11日)も英語検定試験準備実施のため参加出来ず申し訳なく思っております。ご盛会をお祈り致します。11月26日の米沢有為会理事会には何とか出席致しますので宜しくお願い致します。 [米沢市在住] *

渡部 昭 (東 41) 毎度ご連絡いただき感謝しています。毎日楽しく、元気に過ごしています。少しの社会貢献(集落役員・有害鳥獣駆除・桜園造成等)、孫の世話、好きな事(果物と野菜作り、ソフトテニス、スポーツ吹矢、ピンポン、射撃、狩猟等)をしています。 [高島町在住] *

遠藤光広 (仙 42) 定年退職して4年目、第二の仕事ボランティア・楽器の演奏を楽しんでいます。 [仙台市在住] *

庄司芳彦 (東 42) 『ブラタモリ』と相前後して、黒部立山アルペンルートを散策してまいりました。郷土の偉人柴崎測量士の挑んだ剣岳も真近に見ることが出来ました。 [山形市在住] *

兵庫 等 (東 42) 常々皆さんとお会いできたらと思いますが、仕事が忙しくなかなか実現できません。そのうち出席できる機会もあろうかと思っておりますので、今後とも宜しく。 [米沢市在住] *

南齋敏夫 (仙 43) 一度定年退職してから、東北生活文化大学高校で非常勤講師をしており今年度で退

職です。他には仙台市ソフトボール協会副理事長を
拝命し、運営やら審判などやっております。

[仙台在住] *

真石博文 (東 48) 専修大学校友会山形支部の役員
をしており、当日、専修大学校友会仙台支部総会に出
席の為、欠席させていただきます。 [山形市在住] *

遠藤一栄 (札 46) 畑に 300 本の大根と 150 本の白
菜の成長が楽しみ毎日の毎日です。今、こちらは名物芋煮
会の真最中です。 [長井市在住] *

川崎史郎 (札 50) 札幌の興譲館寮で過ごした 4 年
間は、何物にも替え難い思い出です。現在は 60 歳
の定年を過ぎていますが、引き続き単身赴任にて福島
県で働いています。総会ご出席の皆様方のご健勝・ご
活躍を祈念致します。 [多治見市在住] *

海老名 悟 (東 56) 昨年、米沢有為会支部だより
の巻頭文を書かせて頂きました。その内容は東京興
譲館寮・入寮時の事でしたが、当時の事をあらためて
思い出し懐かしくなりました。 [米沢市在住] *

寄宿舎 OB 会結成 30 年

平成 30 年 (2018 年) は寄宿舎 OB 会結成 30 年の
節目に当たります。有為会創立 130 年の前年でもあ
ります。30 年前、米沢有為会の当時の小幡常夫会長
(仙台興譲館 OB) から、寄宿舎 OB 会に対するメッ
セージが寄せられました。以下その内容です。

※※※※※※※※※※

**平成元年 9 月 25 日、米沢有為会の小幡常夫会長
からのメッセージ** — この度、有為会寄宿舎興
譲館で起居された OB の方々の会が結成される旨う
けたまわり、誠に欣快に堪えません。思えば私共は学
生の頃、東京・仙台・札幌・山形と土地こそ異なれ又
夫々の進学は目標は違っていたとは云へ、同じ目的
を持った整った施設の中で、郷里を一つにした先輩
後輩が共同生活をし、修学する便宜を与えられまし
た事は、只単に経済的な面だけではなく、人間形成の
上で極めて大きな恩恵に浴したのであります。

私は東京興譲館館長を命ぜられて 13 年間、ここは
安下宿屋ではない、と人生修養の必要性を強調して
参った経験がありますが、今や社会の中堅となって
各方面で活躍している当時の舎生諸君と、折毎に親
しい会合を持ち世事諸般を語り合う時、何とも云え

えぬほのぼのとした心境になるのであります。

有為会は本年百周年の記念式典を終え正に第二世
紀に踏出したのであります。この意義ある節目の
年に OB 会が結成されて有為会活性化に力を貸して
頂けますことは、誠に時宜を得たご企画であり、深く
感銘致しておる次第であります。この機会に OB の
方々は全員漏れなく伝統の重みを想起され、矜持と
報謝の念を持って有為会会員たる事を確認され、郷
党後輩の育成指導の一大原動力となって下さることを
心から念願して止みません。私はこの OB 会の存在を、
新しい有為会組織活動の中核と位置付け、その
積極的運営に対しご協力を惜しまぬ決意であります。
ご成功を祈ってご挨拶とさせていただきます。

※※※※※※※※※※

事務局から

新年おめでとうございます。

会員相互のコミュニケーション紙です。会員消息、
各種趣味、ライフワークで取組み中の内容等々、ご寄
稿をお待ちしています。 **幹事長 菅野憲幸(東 42)**

〒145-0064 東京都大田区上池上台 3-23-15

電話兼 FAX 03-3727-5990

E メール nkanno@wonder.ocn.ne.jp

【編集後記】 11 月上旬、学園祭シーズンである。近
くにある大学の学園祭を孫と一緒に見てきた。若く
明るい屈託ない学生の姿であふれていた。若さはい
いものだ。キャンパスも想像以上に綺麗。私は学園祭
を 2 度しか経験してない。キャンパス内は立看板で
あふれ、アジ演説でにぎやかだった。大学紛争で学園
がロックアウト。およそ 50 年前の遠い青春の記憶だ。

来年 2019 年、米沢有為会は 130 年、寄宿舎興譲館
寮は 120 年を迎える。幾多の青春が語られた、東京・
仙台・札幌・山形の 4 つの寄宿舎から 2,100 名以上
が社会に羽搏いた。 (菅野憲幸記)

～ グローバル社会で躍動する
置賜の未来への貢献 ～

公益社団法人 米沢有為会
創立 130 周年活動ビジョン(案)

意見募集中! 米沢有為会HPをご覧ください

<http://www.yonezawa-yuukai.org/>

昨年末刊の『米沢有為会々誌』最新号も搭載